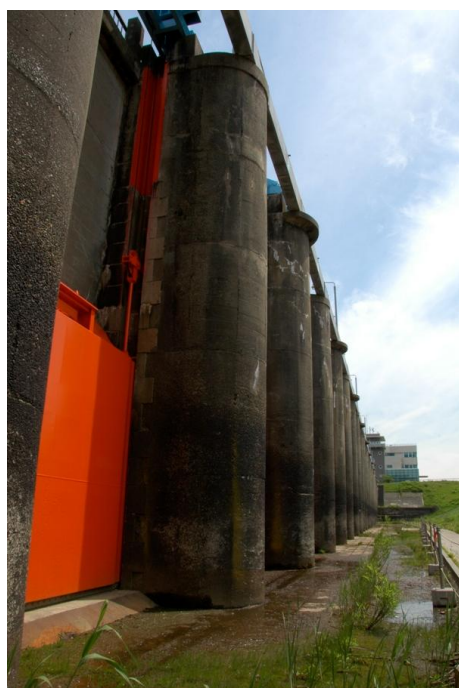


【大河津分水洗堰の概要】

名称（種別）	大河津分水洗堰（土木構造物・治水）
所在地	燕市大川津
建築年代	大正 11 年
登録基準	（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの
登録年月日	平成 14 年 2 月 14 日

分水町（旧町名）の名前の由来にもなった大河津分水は、越後平野を水害から守るため大正 11 年に造られた放水路です。洗堰はこの放水路とともに信濃川河口から約 60km、信濃川本川と分水の分岐地点に築かれた堰です。堰柱 26 基が連なる延長約 146m の大規模な RC 造構造物で、本川への流量を調節します。内務省直轄の信濃川改修工事の代表的遺構のひとつで、我が国最初の本格 RC 造堰です。

現在は、隣接する上流部に新洗堰ができ、この場所は公園として整備され、治水の歴史とともに信濃川の自然を感じられる場となっています。



洗堰



洗堰 全景（南東から）



大河津分水（南から日本海を望む）